



各コントロールについて

VOLUME

本機全体的な音量レベルを設定します。GAIN を低く、VOLUME を高く設定することでトーンコントロールを備えた非常にパワフルなブースターとしても使用可能です。

BODY

非常にパワフルなアクティブ EQ です。低域を $\pm 15\text{dB}$ ブースト/カットします。また、BODY コントロールにはセンタークリックがありフラットに設定しやすくなっています。

GAIN

ゲインを調節し、オーバードライブ量を調節します。GAIN コントロールを低く設定し、他のコントロールをすべて 12 時の位置に設定すると、クリーンな透明感のあるブーストが得られます。そこから GAIN コントロールを上げると、徐々にオーバードライブが加わります。

TONE

パッシブトーンコントロール。Vox アンプの CUT コントロールのようにトレブル周波数帯を調節します。また、TONE コントロールにはセンタークリックがあり、フラットに設定しやすくなっています。

ON/OFF FOOTSWITCH

ペダルを ON/OFF します。本機はトゥルーバイパス仕様です。

DC INPUT DC9V (センターマイナス) で動作します。

BELLE STARR について

BELLE STARR は、バンド Switchfoot の Drew Shirley との数ヶ月に渡る共同開発で生まれました。Drew はいつも超小型でワット数の低いアンプを使い、ワイドオープンにして彼の特有のオーバードライブ・サウンドを作り出してきました。BELLE STARR は、このトーンを再現するために設計されました。ハイゲインのオーバードライブではなく、ローゲイン/ミッドゲインのオーバードライブ回路で、小型アンプに似たスムーズで自然な音の抜けを実現しています。

可能な限り自然なサウンドでアンプライクなオーバードライブを実現するため、独自のクリッピング回路を搭載し、従来のシリコン・ダイオードの代わりに MOSFET トランジスタを採用しました。

BELLE STARR のオーバードライブは、GAIN コントロールにより素直に、レスポンスに異常な反応をすることなく、クリーンからミディアム・ゲインまで調節が可能です。

BELLE STARR はどんなアンプと組み合わせても適切に動作するように Fender、Marshall、Vox、そしてもちろん私たち自身の Jackson アンプなど手に入る全てのアンプでテストされました。

BELLE STARR はダイナミックで表現力豊かでナチュラルなサウンドのオーバードライブであり、どんな機材にも完璧にフィットすると信じています！